

平成24年度 麻溝地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	シゲンジャーキッズ ミニシティさがみはら [1]
申請団体	シゲンジャー・プロジェクト・ラボ
事業目的等	<p>事業概要 麻溝地区の子ども青少年を対象に、環境を考えたまちづくりを子どもたち自身で考え、体験できる仮想のまち「シゲンジャーキッズ ミニシティさがみはら」を作り、イベントを開催するもの。</p> <p>事業の目的 麻溝地区の子ども青少年たちが、資源循環・環境共生をまちづくりに生かす活動を学ぶことで「まちづくり」に自ら参加していくことのできる人を1人でも多く育てるため。</p>
交付決定日	平成24年 4月20日
交付決定金額	400,000 円 (全体事業費 596,288 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども運営市民会議の開催(月1回) 子ども運営委員 8名 ・子どものまち『とさっ子タウン』(高知市)や神奈川県子ども地域アクターアクション(神奈川県)に参加 (高知)子ども 4名参加 ・イベント「ミニ エンジョイ スマイルさがみ～子まちコン～」の開催(7月22日) 子ども市民約 60名参加 ・仮想のまち「エンジョイ スマイルさがみ 2012」の開催(10月28日) 子ども 215名、大人 28名参加 ・相模原市市議会議員4名を招いた『子ども議会』を開催 ・相模原市公園課職員を招いた『子どもまちづくり懇談会』を開催(2月3日) 子ども運営委員 4名、公園課職員 2名参加、傍聴者 2名 <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他都市の子どものまちとの交流は、予算上決められた人数しか引率出来なかったが子どもたちの主体性や社会参画するための力を子どもたち自身につけることができ、同時に大人たちと対等に話すことの出来る子どもを多く育てることも出来た。 ・子どものまちイベントを経験したことによって、仮想のまちとはいえ、大人以上にまちの課題を考え、解決していくことを積極的に行うことで、よりよいまちづくりが出来ることを気づかせることが出来た。今後、まちづくり会議などへ新しい考えを持つ市民として、子どもたちを参画させ、このまちのまちづくりに活かされることを望む。まちのゴミ問題も自分達の身近に感じさせることも出来た。
市 評 価	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが仮想のまちづくりに向け、自分たちで話し合い、大人との意見交換や他都市の子どものまちに関わる人たちとの交流などを経て、仮想のまちイベントの実施に結び付けられたことは、本事業に関わった子どもや大人にとって貴重な体験となったことであろう。今後は、子どもの視点を生かし、実際のまちづくりに関わる地域の大人たちとの交流等が図れるような事業展開も期待したい。 ・また、こうした事業を継続し、子どもたちがまちづくりに対して関心を持ち、ゴミ問題をはじめ、まちづくりの様々な問題に向き合い、自ら解決を図ろうとする姿勢を学ぶことで住民主体のまちづくりの将来の担い手につながることを期待したい。
備 考	

申請事業名	麻溝観光協会	【 2 】
申請団体	「あさみぞ探訪マップ」作成事業	
事業目的等	<p>事業概要</p> <p>地域住民が麻溝地区の魅力を見直すきっかけや地区外の人々が麻溝地区を訪れるきっかけとなる情報発信素材としてマップを作成する。なお、平成22年度に作成した同マップが好評であることから再版するもの。</p> <p>事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源等の再発見 ・地区内外の方への麻溝地区の魅力発信 ・地域活動団体や地域住民の交流促進及び観光振興 	
交付決定日	平成24年 6月15日	
交付決定金額	924,000 円	（全体事業費 924,735 円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>平成22年度に当協会を中心に麻溝地区の健康づくり普及員、文化財調査・普及員、自然観察員などの協力により作成した「あさみぞ探訪マップ」を同一メンバーの協力のもと一部内容を修正し、再版した。</p> <p>また、当該マップの配布は、地区内の各団体に協力いただくとともに、まちづくりセンター・公民館・原当麻駅など地区内の公共施設にて継続的に配布を行った。</p> <p style="text-align: center;">再版部数 10,000部</p> <p>自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該マップは、麻溝地区の観光資源などを地区内外の人に情報提供するのに非常に有効なものであり、当協会や地区の発展につながるものとする。 ・このマップを地区内の団体などが事業に活用することにより、地区の魅力を見直し、郷土愛の醸成につながるものとする。 ・麻溝地区の魅力発信に関する今後の事業展開に向けて、マップの編集に協力いただいた団体と連携・協力関係を強化することができたことは非常に有意義なことだった。 	
市評価	<p>交付団体の「事業成果」、「自己評価」等にもあるとおり、地区内の住民に麻溝の地域資源を見直し再発見してもらうことや、地区外の方々に麻溝地区の魅力を見知らせることは、麻溝地区の活性化に有効な事業として評価できる。</p> <p>また、事業主体である麻溝観光協会をはじめ、編集に協力した団体などの連携・協力が促進されたことで、人材の掘り起こしや、地区の魅力づくり・発信活動など多様な地域活性化に向けた取り組みが今後期待できるものとして評価できるものである。</p>	
備考		

申請事業名	“いいまち あさみぞ” 安心見守りプロジェクト推進事業	[3]
申請団体	“いいまち あさみぞ” 安心見守りプロジェクト実行委員会	
事業目的等	<p>事業概要</p> <p>地域から孤立する人、見守りを必要とする人などに対して、地域住民全体でゆるやかな見守りと(救急、災害など)緊急時の対応や継続的・個別的な見守りなどの必要性を共有するとともに、地域福祉にかかる様々な団体・活動などを連携させて、具体的な事業を展開するもの。</p> <p>事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域から孤立する人を見逃さない。 ・継続的・日常的な見守りが必要な方を確実に見守る。 ・緊急対応や専門的な支援が必要な方に対して適切な対応を行う。 	
交付決定日	平成24年 6月22日	
交付決定金額	550,000 円	(全体事業費 717,520 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト周知、気付き啓発事業 <ul style="list-style-type: none"> 地域住民全体に見守りプロジェクトに取り組む必要性や、隣近所の気付きの重要性を啓発するチラシを作成し、全戸配布(7月) 啓発チラシ(7,000枚)作成 ・安心グッズ作成・配布事業 <ul style="list-style-type: none"> 緊急連絡先、かかりつけ医などを記入できるカードや災害時に利用できるグッズ(ブザー、シートなど)を安心グッズとして作成し、希望者に配布 ・安心グッズ希望者募集チラシ(7,000枚)作成(1月) ・ポスティング業者により全戸配布を実施(1月) ・利用者の安心グッズメンテナンスを実施(7月・1月) ・安心グッズを随時配布(新規 32件) ・講演会の開催 <ul style="list-style-type: none"> 「ゆるやかな見守りのすすめ」～あなたの気づきが大きな安心に～をテーマに、ボランティアグループ「すずの会」代表 鈴木恵子氏による講演会を開催。 平成25年2月9日(土) 場所 麻溝公民館 大会議室 参加者47名 ・講演会周知用チラシ(7,000枚)作成(1月)及び全戸配布 <p>自己評価</p> <p>平成23年度から地区社会福祉協議会、民生委員、自治会、老人クラブ等が継続して行っている「地域で孤立しがちな高齢者等をゆるやかに見守る体制」がより充実したものとなった。また、事業案内チラシの配布については、全戸配布することにより多くの人の目に触れ、効果は十分であると考え。</p>	
市評価	<p>事業目的である地域から孤立する人を見逃さない、継続的・日常的な見守りが必要な方を確実に見守ることなどは、「事業成果」、「自己評価」欄にもあるとおり、地域住民全体の協力が欠かせないため、事業を通して住民意識を向上させることは、非常に有効である。また、地域の団体間の連携が強固なものとなったことは、今後の事業展開が期待できる。</p>	
備考		

申請事業名	「あさみぞガイド」養成事業 [4]
申請団体	麻溝観光協会
事業目的等	<p>事業概要</p> <p>麻溝地区の特徴などを知る人をひとりでも多く増やし、地区内外の人に麻溝地区の魅力を発信していく必要があるため、地区の魅力を学ぶ講座等を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あさみぞマスター養成講座」の開催 ・「あさみぞガイド」の認定 ・「麻溝地区のハイキング事業」の実施 <p>事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あさみぞマスター養成講座」の開催を通じて、麻溝地区の歴史、文化財、自然・生物などを地域住民に再認識してもらい、地域への愛着を深める。 ・「あさみぞマスター養成講座」の受講者のうち、「あさみぞガイド」として協力いただける方を「あさみぞ探訪マップ」とともに効果的に活用することにより、地区の魅力を地区外の人々に発信し、「あさみぞ」を訪れたいという人を増やす。
交付決定日	平成24年9月7日
交付決定金額	295,000 円 (全体事業費 295,246 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あさみぞマスター養成講座」の開催 <ul style="list-style-type: none"> 麻溝地区の自然、歴史・民俗、遺跡をテーマに市立博物館学芸員による講座を実施 ・講座実施日:11月6・13・20日 受講者数:延べ129名 ・「あさみぞマスター」認定証交付者数:41名 ・「あさみぞガイド」の委嘱 <ul style="list-style-type: none"> 20名に委嘱(「あさみぞマスター」の中から特に協力いただける方) ・「麻溝地区のハイキング事業」の実施 <ul style="list-style-type: none"> 「あさみぞガイド」によるハイキングの実施 ・名称:春の麻溝史跡めぐりハイキング「一遍上人を訪ねて」 ・実施日:3月20日(水) 参加者数:31名 <p>自己評価</p> <p>地域住民を対象とした「あさみぞマスター養成講座」は受講率が高く、アンケートにおいても好評であり、また、自然や歴史など地区の魅力を再認識し、愛着を深めてもらうことができた。地区の魅力発信の担い手としての役割が期待される「あさみぞガイド」については、予想以上の方の協力を得ることができ、また、「あさみぞガイド」を活用した「史跡めぐりハイキング」においては、麻溝の魅力を参加者へアピールできた。</p>
市評価	<p>住んでいる地域の自然や歴史など地区の魅力を「あさみぞマスター養成講座」を通じて再発見し、また、地区の魅力を地区内外の方に発信していく、大きな力である人的資源、「あさみぞガイド」という協力者を得たことは、大いに評価できる。なお、「史跡めぐりハイキング」においては、参加者が少なく、今後時期やイベント開催の周知方法など検討していく必要がある。</p>
備考	

申請事業名	あさみぞ地域情報発信プロジェクト事業	[5]
申請団体	あさみぞ地域情報発信プロジェクト実行委員会	
事業目的等	<p>事業概要</p> <p>麻溝地区各種団体の活動を紹介するDVDを作成するとともに、情報発信のため資機材を整備する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館入口付近に液晶モニターを設置し、各団体の情報を放映 ・液晶モニター、DVDデッキ、モニター台、編集作業用ソフト等の購入 ・編集に係る作業部会の開催 <p>事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻溝地区における地域団体の活動等に係る情報を積極的に紹介することにより、地域住民に各団体の活動への理解を深めてもらうとともに、活動への参加を促す。 ・麻溝地区の情報を積極的に発信することにより、地域住民に地区の魅力の再発見と郷土愛の醸成を促す。 ・地域情報紙に掲載された情報をより効果的な方法で地域住民に周知する。 	
交付決定日	平成24年11月26日	
交付決定金額	158,000 円	(全体事業費 227,113 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会などの各種団体の活動について、若い世代の参加者の増加や担い手の確保の一つとして、公民館入り口付近に液晶モニターを設置し、団体の活動内容などの放映を開始した。 ・放映内容は当プロジェクトの構成団体が自己の団体の活動内容・イベント情報など、独自に工夫を凝らし、製作したDVDでピーアールを行うものである。 ・今後、放映内容の更新などは、団体が必要に応じて行うなど、団体の自主性に任せることとなっている。 <p>自己評価</p> <p>各団体の活動内容・イベント情報は、地域情報誌や回覧・掲示などを活用し行っていた。新たに情報提供の手段が一つ増えることは、より多くの人に情報が伝わるものであり、また、映像という形での提供は非常に有効であると考えます。</p> <p>また、従来あまり行われていない各団体の日ごろの活動を映像として発信していくことは、団体自体を理解するよいきっかけとなるものである。</p>	
市評価	<p>各団体のイベント情報だけではなく、日常の団体活動の紹介を映像として提供していくこと、また、団体が自らピーアールするDVDを作成してことは、団体自身にとっても住民にとっても有効なものであり、視聴された一人でも多くの方が地域活動の大切さに気づき参画してもらうことが期待できる。</p> <p>なお、作成されたDVDの放映場所が限られた場所となり、今後このDVDをより多くの地域住民に視聴してもらうか活用方法などが課題となってくる。</p>	
備考		